



かわら版

最上小国川流水型ダム



平成28年6月号

第13号

平成28年6月23日発行

【発行元：前田・飛島・大場JV】

ごあいさつ

6月も後半となりました。県内でも梅雨入りが発表され、雨の降る日が多くなりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

大地をうるおす大事な恵みの雨ですが、大雨により河川の増水や土砂災害が発生しやすくなります。皆さまの安全・安心な生活をお守りするためにも、ダムの完成に向けて作業を進めて参ります。

夏が近づき、夏日になる日も増えてきました。熱中症などには十分にお気を付け下さい。



写真：展望台よりダムサイトを望む
(堤体部の伐採、掘削作業中です)

濁水処理設備

工事で発生した濁水は、濁水処理設備にてきれいにして河川に戻しています。処理能力として時間当たり150m³/hを処理できます。また、貯留池を経由させることで最大50mm/hまでの雨量を処理することができます。

設備のシステムとして前田建設工業(株)の自社開発技術であります「アクアフィルタシステム」を採用することにより河川の水生生物への影響を最小限に抑えることができます。



写真：濁水処理設備全景



写真：濁水処理設備内部の様子
(奥側より手前側へ処理していきます)



写真：貯留池
(濁水を一時溜めておきます)

6月の出来事

稚鮎放流

6月18日(土)に稚鮎放流イベントを開催致しました。今年は湯けむり橋のたもとを会場にして、小国川漁業協同組合の方々のご協力のもと、約20kgの稚鮎を最上小国川へ放流しました。近隣の小学生や住民の方々など、たくさんの方にご参加頂きました。ありがとうございました。



現場視察

5月16日(月)に山形県議会建設常任委員会の方々が現場視察にいらっしゃいました。展望台や砂防堰堤より現場を見て頂きました。



JV職員紹介



氏名: 中野 孝威 (ナカノ タカツナ)

役職: 工事課長 (前田建設工業(株))

出身地: 東京都杉並区

ダムに携わって10年以上。その内、山形県での仕事が6年程あります。今回、また山形でお世話になる事になりました。何かと『縁』があり第二の故郷である山形で、精一杯頑張りたいと思います。宜しくお願い致します。

発注者: 山形県最上総合支庁

施工者: 前田・飛島・大場JV

連絡先: 〒999-6105

山形県最上郡最上町大字富澤
字菅ノ平3780-1

TEL 0233-46-3430

FAX 0233-46-3431

ホームページ

<http://mogamiogunigawa-jv.jp/>

安全・品質・環境を優先した作業を行っていきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力、よろしくお願い致します。ご意見、ご感想などがありましたら、気軽にお声を掛けてください。